





第5回SS研大規模SMP運用WG資料

添付資料31-2 特定のジョブが他ジョブの経過時間 に影響する問題の検証結果

2006年2月17日 宇宙航空研究開発機構

1

DTU通信量の均等化の効果検証

トータルスループットの検証

検証モデル

JOB-Aを含む大規模転送ジョブグループと、JOB-Bを含む小規模転送ジョブグループを混在した同時走行により効果を検証

検証結果(DTU転送IOサイズのデフォルト値サーベイ)

DTU転送I Oサイズの調整による総スループット改善は困難。

No.	DTU転送IOサイズ	スループット(秒)		
		大規模	小規模	全体
1	指定なし(1GB)	1784	1746	1784
2	16MB	1886	1634	1886
3	8MB	1887	1634	1887
4	4MB	1931	1606	1931
5	1MB	1942	1592	1942

3

まとめ

- DTU転送転送サイズの調整により、ブレの 軽減が可能な場合がある。
- ただし、DTU転送サイズのデフォルト値を 変更すると、総スループット性能は悪くなる ため、デフォルト値設定は困難。